

## 福岡県立輝翔館中等教育学校 CAN-DOリスト

技能	学年		第1学年(学年末)	第2学年(学年末)	第3学年(学年末)	第4学年(学年末)	第5学年(学年末)	第6学年(学年末)
	項目							
Reading (読むこと)	実生活に関わること		公共の施設などにある簡単な表示や掲示を見て、その意味を理解することができる。	Eメール等の短いメッセージを辞書を使いながら読み、理解することができる。	簡単な文章や表示・掲示を読み、理解することができる。	チラシやパンフレットを読んで、値段や特徴などの必要な情報を探して、その内容を理解することができる。	学習者用に書かれた英字新聞の中で、自分が興味のある記事を探して、その内容を理解することができる。	英字新聞の興味のある記事を、辞書を多用しないで読み、理解することができる。
	黙読スピードと概略理解に関すること		教科書レベルの文章を、60wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。	英検4級レベルの文章を、70wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。	県立高校の入試問題を80wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。	英検準2級レベルの文章を80wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。	センター試験レベルの長文の英語を90wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。	センター試験レベルの英文を100wpm以上のスピードで読み、概要を理解することができる。
	音読に関すること		中学1年生の既習の教科書本文を、英語特有の音を正しく発音しながら音読することができる。	中学2年生の既習の教科書本文を、正しい発音で滑らかに音読することができる。	中学3年生の既習の教科書本文を、その内容に合わせて感情を込めて音読することができる。	コミュニケーション英語Ⅰの既習の教科書本文を、意味のまとまりに注意し、相手が理解しやすいように音読することができる。	コミュニケーション英語Ⅱの既習の教科書本文を、意味のまとまりに注意し、ナレーターを演じるように音読することができる。	本校で使用する教科書レベルの文章であれば、初見であっても相手に意味が伝わるように音読することができる。
Listening (聞くこと)	実生活に関わること		簡単な指示を聞いて、適切に応じることができる。	ゆっくり話されれば、簡単な道案内を聞いて理解することができる。	学校などの施設や乗り物などで、簡単なアナウンスを聞いて理解することができる。	いろいろな店で、店員からの簡単な商品説明を聞いて買い物することができる。	簡単な内容であれば、英語で行われる講演や研修会の講義内容を理解することができる。	身近な話題についてのテレビ番組等を見て、画面の情報を助けとしながら、その概要を理解することができる。
	一方的な発話の聞き取り		人や物についての簡単な紹介や説明を聞いて理解することができる。	教師による教科書の内容や活動のやり方などの説明を聞いて理解することができる。	県立高校のリスニング問題を聞き、内容を理解することができる。	英検3級レベルの長文の音読を聞き、内容を理解することができる。	英検準2級レベルの長文の音読を聞き、その内容を大まかに把握することができる。	副教材で使用している長文問題集のCDを自然な音調で聞き、内容を理解することができる。
	会話における聞き取りや技術に関すること		ごく身近な話題の会話において、相手の言うことを理解し、相づちなどの反応をすることができる。	身近な話題の会話において、相手の言うことを理解し、さまざまな相づちを打つことができる。	相手の話す内容に応じて適切な相づちを打ったり、わからないところを聞き返したりすることができる。	英語で聞いたり話したりしたことのある話題ならば、相手の言うことを理解し、必要なときに内容を確認することができる。	身近な話題であれば、相手の言うことを理解し、必要なときに内容を確認することができる。	自分の知らないことを言われても、適切に対処しながら会話を続けることができる。
Speaking (話すこと)	実生活に関わること		食べ物の好き嫌いや趣味について述べたり、相手に質問したりすることができる。	物事の好き嫌いとその理由を簡単に述べるることができる。	電話で、簡単な表現や決まり文句を使って、取り次ぎや伝言等のやりとりを適切に行うことができる。	電話で、会う時間や場所などの交渉をすることができる。	旅行やイベントなど印象に残った出来事について、相手にわかりやすく詳細に話すことができる。	店、レストラン、公共の施設などで、問題点など自分の用件を伝え、交渉をして解決することができる。
	準備をして行う発話(発表活動)		人物や物事について30語程度のスピーチを行うことができる。	学校行事や長期休業中の過ごし方について50語程度のスピーチを行うことができる。	商品やアンケート調査結果などを説明するプレゼンテーションを行うことができる。	教科書の本文や、同程度の短い物語を読んで、その概要と感想を述べるることができる。	図表や写真などを有効に活用し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる。	3分程度のスピーチを、わかりやすい構成で、聞き手を惹きつけながら行うことができる。
	即興で行う発話(会話など)		他の生徒と協力しながら1分以上会話を続けることができる。	他の生徒と協力しながら2分以上会話を続けることができる。	自分の得た簡単な情報を、準備せずに、他の人に正確に伝えることができる。	会話において、身近な話題であれば、相手の反応に合わせて補足説明をしながら、話を続けることができる。	読んだ本や、見た映画についての内容や感想を簡単に述べたり、分からないことについて聞き返すことができる。	自分が発表したことに相手から質問された際、相手の持っている情報量に合わせて説明することができる。
Writing (書くこと)	実生活に関わること		自己紹介の掲示用ポスターを書くことができる。	自分の予定を手帳やカレンダーなどにメモ書きすることができる。	感謝や謝罪を表した簡単な手紙やEメールを書くことができる。	感情や経験、出来事を詳しく記した個人的な手紙や日記を書くことができる。	身近に起きた出来事や相手を説得するための英文の手紙やEメールを100語程度書くことができる。	新聞や雑誌などに投稿するために、自分の意見をまとめ、文章を作成できる。
	意見、要約、感想などの筆記に関すること		見本を参考にして、簡単な絵はがきやカードを作ることができる。	イラストや写真の簡単な説明文を書くことができる。	簡単な内容であれば、教科書で習ったレッスンの要約文を書くことができる。	自分の経験したことを、その時の気持ちを含めて読み手に伝わるように50語程度で書くことができる。	200語以上の語数の英語の文章を読んで、その内容を知らない人物に分かるよう要約文を書くことができる。	日本の文化などについて、他国と比較しながら説明する文章を書くことができる。
	口頭発表するための原稿に関すること		5回程程度のやりとりの創作スキットを他の生徒と協力して作成することができる。	50語程度のスピーチ文を聞き手にわかりやすく書くことができる。	自分の好きなテーマのプレゼンテーション用の原稿を聞き手が理解しやすい構成で書くことができる。	教科書で学習した様々な分野について、その要点と感想を述べるためのスピーチ原稿を書くことができる。	身近なテーマについて、必要に応じて辞書の助けを借りて100語程度のスピーチ原稿を書くことができる。	序論・本論・結論の3部構成で説得力のある300語程度のスピーチ原稿を書くことができる。